

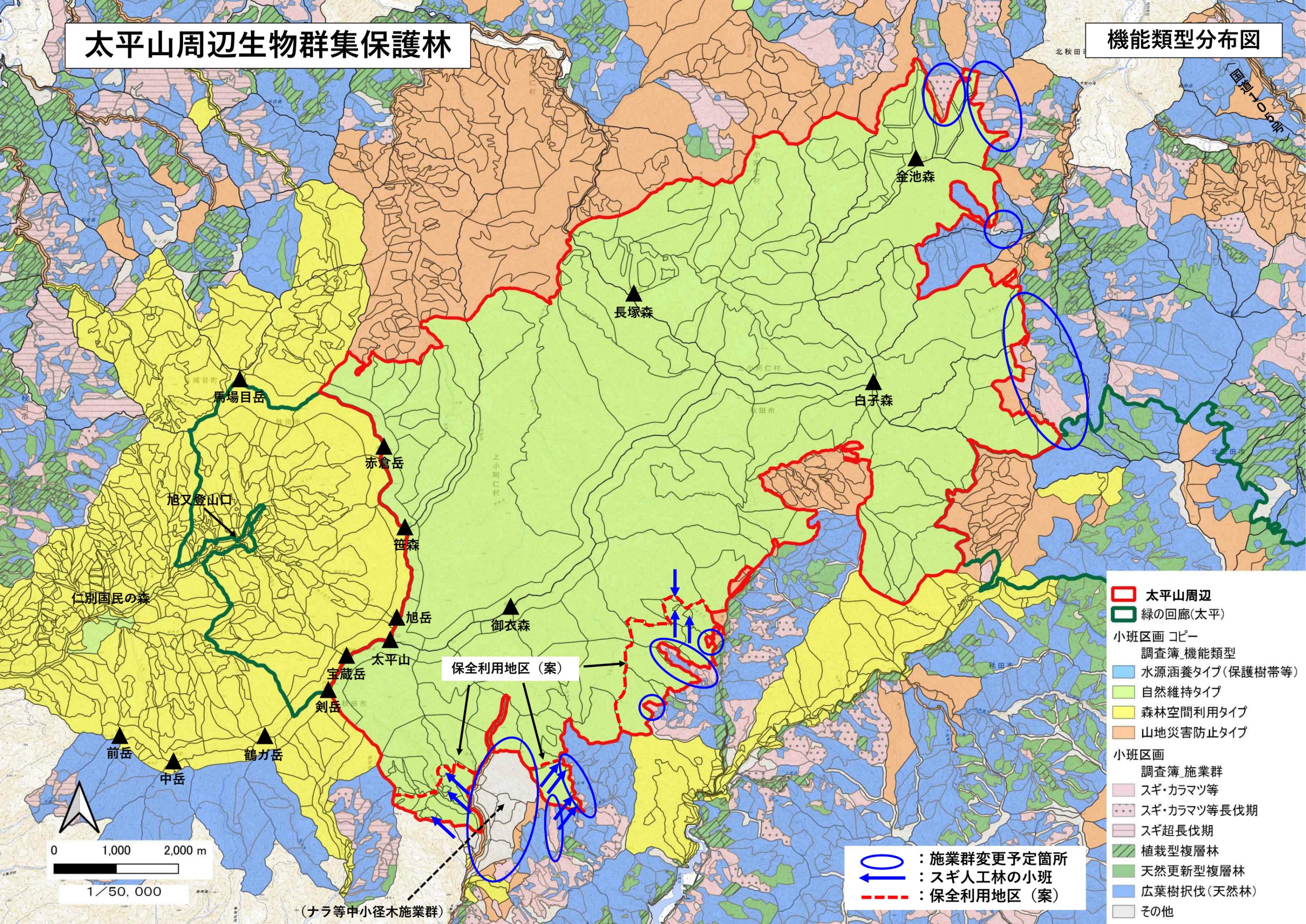
太平山周辺生物群集保護林		設定目的等	位置図(●)
所在地	秋田県秋田市・北秋田市・上小阿仁村	急峻な地形内に広域的に分布する高齢級ブナ林の保護及び尾根筋のキタゴヨウクロベ林やオサバグサ、コアニチドリ等の貴重群落・貴重種の生育環境の保護。	
面積・管轄森林管理署	7,223.25ha (米代東部森林管理署上小阿仁支署:4,439.10ha、秋田森林管理署:2,784.15ha)		
設定・変更年	設定:昭和46年4月1日 変更:平成29年4月1日(再編)		
保護林概況写真		保護林の概要等	直近のモニタリング調査年度・結果概要等
 <p>旭岳より白子森(中央奥)遠望</p>		<p>保護・管理及び利用に関する事項</p> <p>自然の推移に委ねることを基本とし、施業等を必要とする場合には、管理経営の指針に基づき行うこととする。</p> <p>モニタリングの実施間隔及び留意事項</p> <p>10年ごとにモニタリング</p> <p>法令等に基づく指定概況</p> <p>水源かん養保安林、土砂流出防備保安林、保健保安林、太平山県立自然公園(1特,2特,3特)</p> <p>その他留意事項</p> <p>昭和46年4月1日に秋田営林署(現秋田署)において太平山学術参考保護林に設定された。平成5年4月1日の第1次施業管理計画で太平山ブナ植物群落保護林に再編、平成18年4月1日に上小阿仁支署管内にも拡大され、平成29年に太平山周辺生物群集保護林に再編された。</p>	<p>【平成28年度 調査項目】</p> <p>・森林調査</p> <p>広域的な原生ブナ林や貴重植物群落を保護するための森林が維持されている。</p>

項目	参照資料	所見
周辺の森林施業の現況	機能類型分布図 衛星画像・現況写真	本保護林の周辺には、森林空間利用タイプ、山地災害防止タイプ及び水源涵養タイプの3類型が分布し、東側の一部と西側の一部には『八幡平太平山緑の回廊』が接続している。北側一部と南東側の一部に山地災害防止タイプの天然林、西側に森林空間利用タイプの天然林が主に見られる。保護林の東側と南側に隣接する水源かん養タイプの小班のうち、大部分は広葉樹伐採施業群の天然林だが、一部スギ・カラマツ等施業群等の人工林が散在する。これらの人工林については、複層林を指向する施業群へ変更することとし、皆伐による施業は行わないものとする。なお、保護林南端の一部が民有林と接しており、施業予定の無い広葉樹が生育している。
法令制限・利用等の現況	機能類型分布図 自然公園分布図 衛星画像・現況写真	保護林の主に北側一部が水源かん養保安林、南側一部が土砂流出防備保安林で、太平山南側の一部が保健保安林に重複指定されている。また、前岳から馬場目岳にかけての主稜線が太平山県立自然公園の第1種特別地域に、御衣森(みそもり)から白子森にかけての稜線と西側及び南側の一部が第2種特別地域に、その他西側一部が第3種特別地域に指定されている。前岳から馬場目岳一部には登山道が整備されており、特に日本三百名山に選定されている太平山は、山頂に建立された太平山三吉神社奥宮の参拝に旭又登山口から多くの登山者が訪れている。
植生に関する現況	植生図	保護林の大半はチシマザサ-ブナ群団で、北側と南側の一部にはスギ-ブナ群落が見られる。尾根筋には一部、クロベ-キタゴヨウ群落が見られるほか、ヒメヤシャブシ-タニウツギ群落やタニウツギ-リウツギ群落等が散在し、旭岳周辺にはシナノキンバイ-ミヤマキンボウゲ群団が生育する。また、保護林南側には小面積のスギ植林地が含まれる。

地帯区分(案)	<p>保護林の周辺については、森林の現況に急激な変化を与えないことを旨とした機能類型や緑の回廊、自然公園等に指定されており、急激な環境の変化を及ぼすような施業を実施する林分は無く、緩衝帯としての役割が期待できる。一部、将来的に皆伐が想定されるスギ・カラマツ等施業群等の小班が隣接するが、次期森林計画策定時に施業群の変更を行い、緩衝帯としての機能を持たせることを検討する。</p> <p>保護林内の植生については、大部分がまとまったブナの天然林であり、一体的に保存することが望まれる。</p> <p>一方、保護林内の南側に小面積のスギ人工林が点在しており、今後間伐等天然林に誘導する施業の実施が想定されるため、これら人工林を含めた周辺一部については保全利用地区とする。</p> <p>また、保護林の一部に接する民有林は広葉樹林であり、地権者は急傾斜地につき伐採の意向は無いものの、法的な伐採規制が無いため、民有林と接する小班についても保全利用地区とする。</p>
---------	--

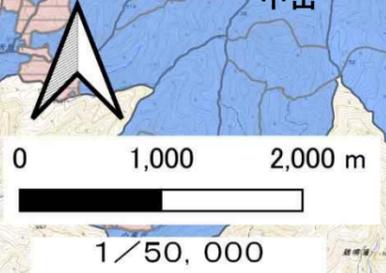
太平山周辺生物群集保護林

機能類型分布図



- 太平山周辺
- 緑の回廊(太平)
- 小班区画 コピー
調査簿_機能類型
- 水源涵養タイプ(保護樹帯等)
- 自然維持タイプ
- 森林空間利用タイプ
- 山地災害防止タイプ
- 小班区画
調査簿_施業群
- スギ・カラマツ等
- スギ・カラマツ等長伐期
- スギ超長伐期
- 植栽型複層林
- 天然更新型複層林
- 広葉樹択伐(天然林)
- その他

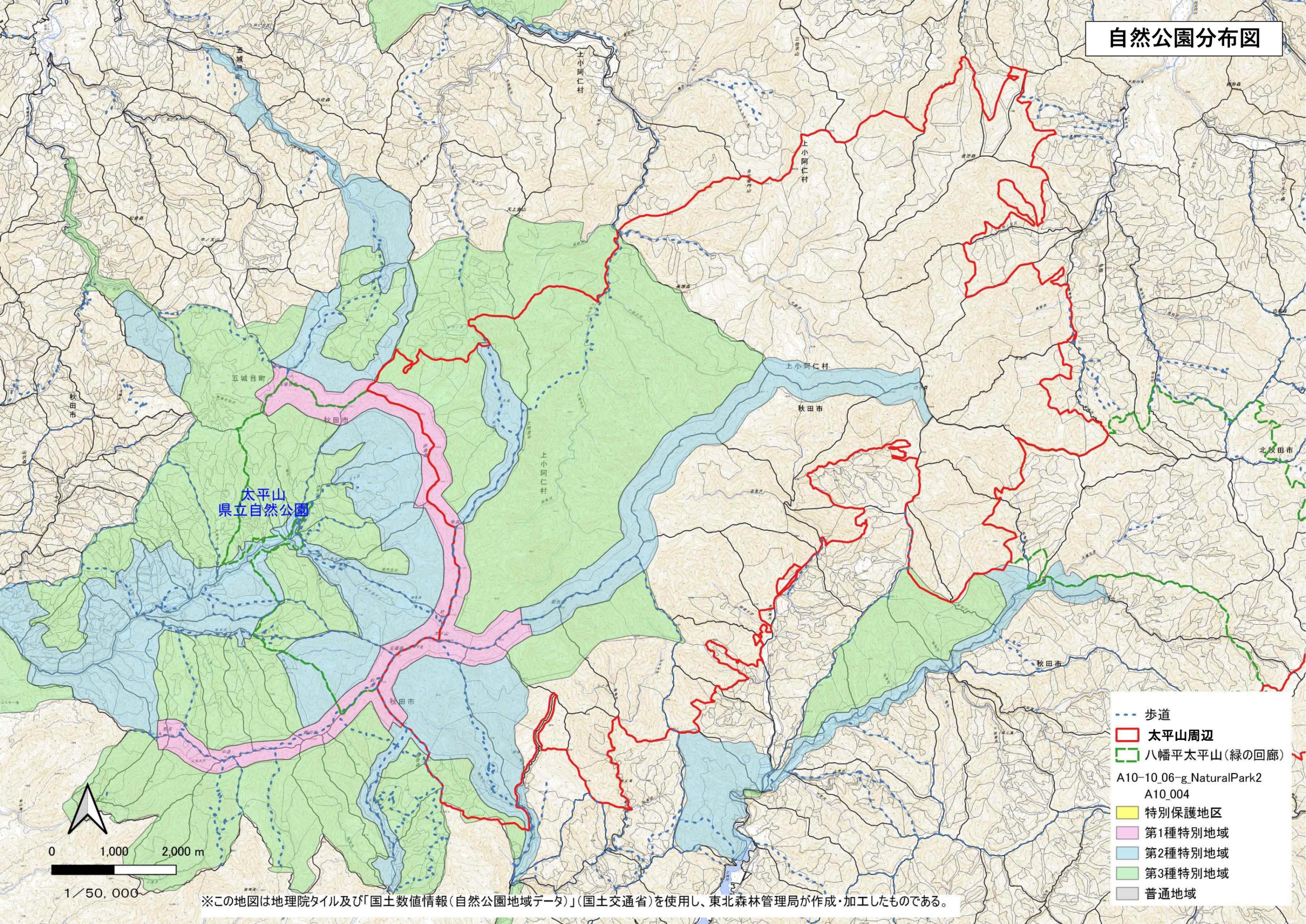
- : 施業群変更予定箇所
- : スギ人工林の小班
- : 保全利用地区 (案)



保全利用地区 (案)

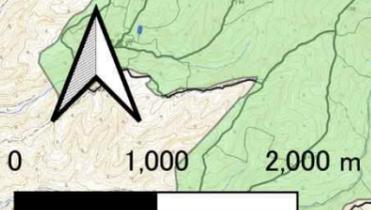
(ナラ等中小径木施業群)

自然公園分布図



太平山
県立自然公園

- 歩道
- ▭ 太平山周辺
- ▭ 八幡平太平山(緑の回廊)
- A10-10.06-g_NaturalPark2
A10_004
- ▭ 特別保護地区
- ▭ 第1種特別地域
- ▭ 第2種特別地域
- ▭ 第3種特別地域
- ▭ 普通地域

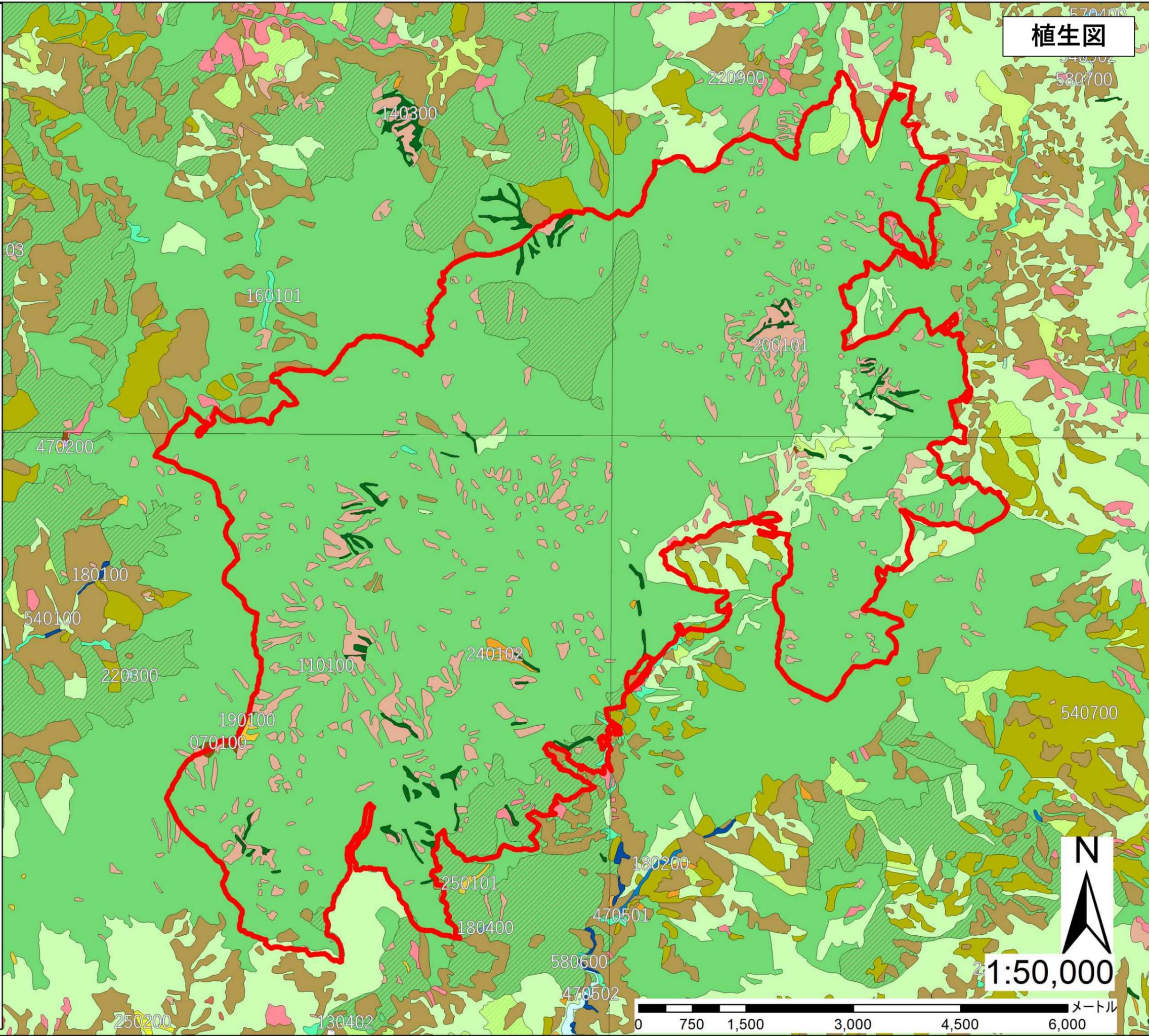


1/50,000

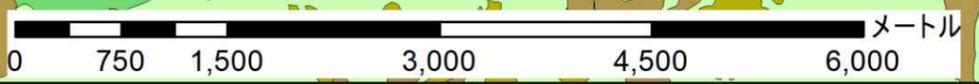
※この地図は地理院タイル及び「国土数値情報(自然公園地域データ)」(国土交通省)を使用し、東北森林管理局が作成・加工したものである。

植生図

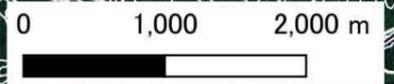
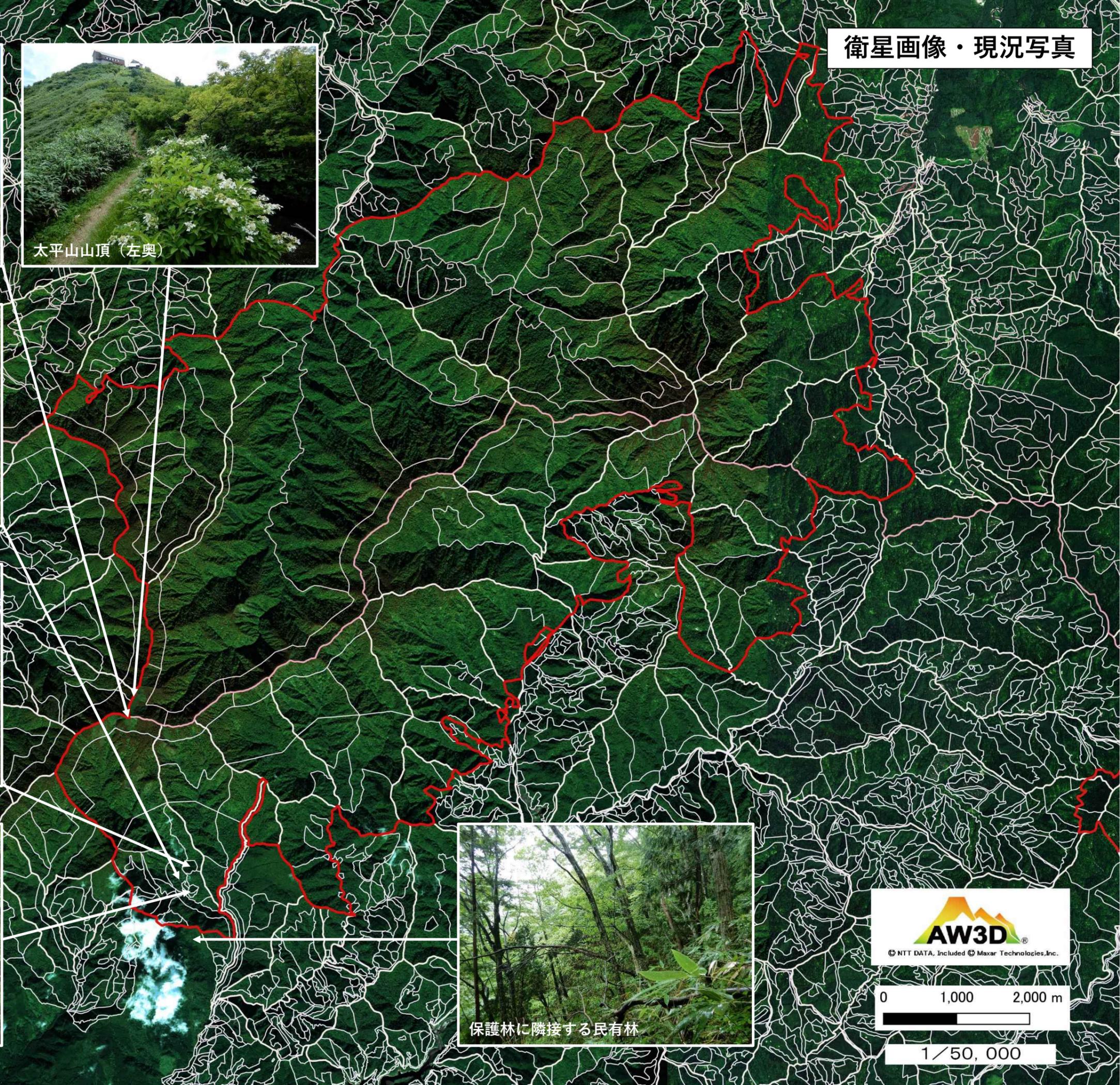
- 070100シナノキンバイーミヤマキンポウゲ群団
- 070200ササ群落 (II)
- 110100チシマザサーブナ群団
- 110103スギーブナ群落
- 130402アカシデ群落
- 140300クロバークタゴヨウ群落
- 160101ジウモンジシダーサワグルミ群集
- 160400ケヤキ群落 (IV)
- 180100ヤナギ高木群落 (IV)
- 180200ヤナギ低木群落 (IV)
- 180400ヤマハノキ群落
- 190100ウラジロヨウラクミヤマナラ群団
- 200101ヒメヤシャブシータニウツギ群落
- 220100ブナーミズナラ群落
- 220101スギーミズナラ群落
- 220103オオバクロモジミズナラ群集
- 220300ウダイカンバ群落
- 220500コナラ群落 (V)
- 220900シラカンバ群落
- 230100アカマツ群落 (V)
- 240102タニウツギーノリウツギ群落
- 250101チシマザサークマイザサ群落
- 250200スキ群団 (V)
- 260000伐採跡地群落 (V)
- 470200ヌマガヤオーダー
- 470501ツルヨシ群集
- 470502オギ群集
- 540100スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 540700カラマツ植林
- 540902ニセアカシア群落
- 570100路傍・空地雑草群落
- 570400水田雑草群落
- 570500放棄水田雑草群落
- 580200残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
- 580400造成地
- 580600開放水域
- 580700自然裸地



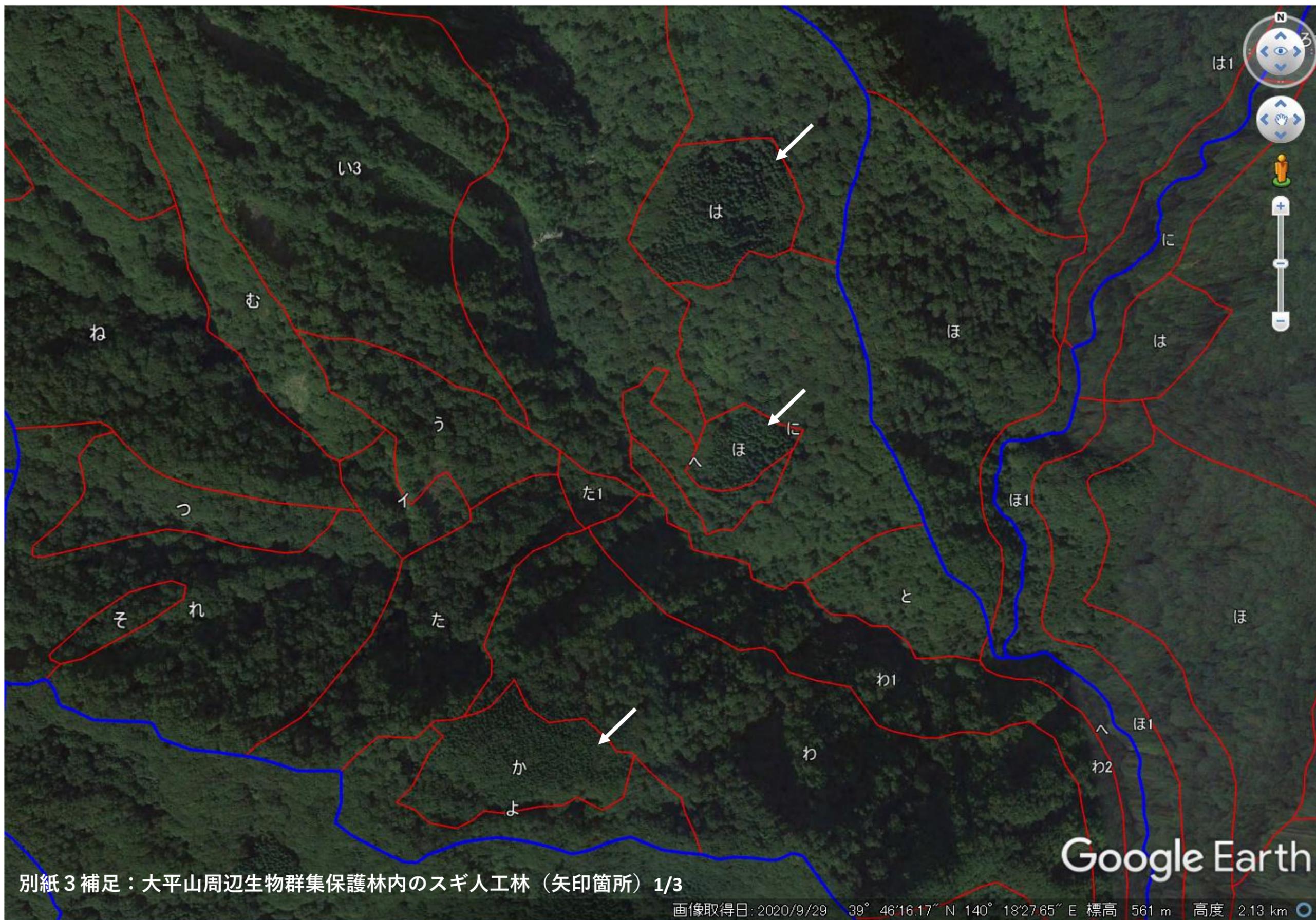
2:1:50,000



※この植生図は、1/25,000植生図GISデータ(環境省生物多様性センター)を使用し、東北森林管理局が作成・加工したものである。



1/50,000



別紙 3 補足：大平山周辺生物群集保護林内のスギ人工林（矢印箇所） 1/3

画像取得日: 2020/9/29 39° 46'16.17" N 140° 18'27.65" E 標高 561 m 高度 2.13 km



別紙 3 補足：大平山周辺生物群集保護林内のスギ人工林（矢印箇所） 2/3

画像取得日: 2020/10/9 39° 46'35.26" N 140° 20'36.17" E 標高 285 m 高度 2.13 km



別紙 3 補足：大平山周辺生物群集保護林内のスギ人工林（矢印箇所） 3/3